

松山市文化芸術振興計画

計画について

○ 計画の目的

松山では古くから文化の醸成に力が入れられ、能楽や茶道などの伝統文化や、俳句・小説をはじめとしたことば文化、さらには現代芸術に至るまで、多様な文化芸術を育んできました。

近年、文化芸術が持つ創造性は、地域振興や観光・産業振興など活躍の範囲を大きく広げています。そこで、松山市では、文化施策を計画的に進めるため、新たに松山市文化芸術振興計画を策定します。

策定にあたっては、市民や文化団体へのアンケートをはじめ、公募によるワークショップを開催するなど、幅広く市民の意見をいただくとともに、関連する部署で構成する庁内作業部会で素案を作成し、学識経験者や文化芸術の関係者による策定懇話会で検討を進めました。

○ 計画の範囲

松山市では、文化芸術基本法第8条から第14条までに列記されている文化芸術を本計画でもその範囲とします。

○ 計画期間

昨今の急速な社会経済情勢の変化を勘案し、計画期間は平成30年度から34年度の5か年とします。

○ 進捗管理

本計画の進捗管理については、各部局での事務事業評価や市民アンケート調査等により数値目標の達成状況を確認し、(仮)文化芸術振興推進委員会等で検証します。

そしてP (Plan) D (Do) C (Check) A (Action) サイクルで計画の改善を進めていきます。

計画が実現した姿



○ 文化芸術

- 文化芸術に接する機会が増えている。
- 多様な人々が参加し、創造することができている。
- ことば文化など個性的な文化が育ち世界へ発信している。
- 個性的で魅力あるまちになっている。
- 受け手側や発信側、つなぐ人、多様な人材が育っている。

○ 産業・観光

- 文化芸術により産業が創出され、新たな雇用が生まれている。
- 観光客が文化芸術を楽しみ、おもてなしの心に触れている。

○ 健康・福祉

- 文化芸術活動を通じた交流により地域コミュニティが形成されている。
- 文化芸術活動により社会参加の機会がつけられている。

○ まちづくり

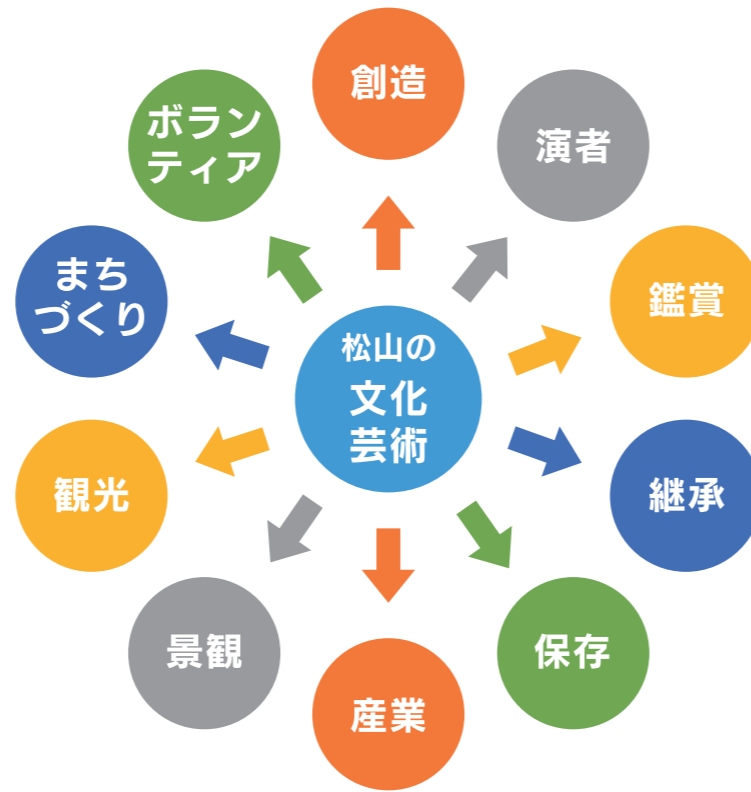
- 文化芸術交流機能の強化によりまちが再生されている。
- 地域の個性、文化芸術が表出し、これを深く知ることができる。

○ 教育

- 地域に根ざした文化芸術による生涯学習が推進されている。
- 郷土への誇りや、愛着を育む教育がなされている。

将来ビジョン

市民全員が“まつやま文化人”



音楽 × 食 × 商店街



絵画 × まち歩き



ことば文化 × 教育

文化芸術を創る人、演じる人はもちろん、仕事とする人、まちづくりに活かす人など、文化芸術に様々な分野で関わる人を「まつやま文化人」とし、「市民全員が“まつやま文化人”」を将来ビジョンとします。

基本理念

- 文化芸術で市民の創造性や表現力の向上を目指します
- 文化芸術で心豊かで活力ある地域社会の形成を目指します
- 文化芸術で市民の誇りと絆を深め、世界や未来へつなぎます

この計画では、将来ビジョン「市民全員が“まつやま文化人”」を目指して5つの目標を定め、目標を達成するため「3つの戦略」に取組みます。

目標

- 文化芸術に接する機会を増やす
- 多様な人々が文化芸術を創造する
- 俳句やことばを軸とした松山の個性を伸ばす
- 文化芸術の創造性を様々な分野に活かす
- 文化創造に関わる人を増やす

3つの戦略

○ 総合情報戦略

文化芸術情報総合サイトを構築し、松山の文化芸術に関する情報を網羅、更新しながら発信を行います。これにより、豊かな文化的土壌の中から、再発見や新しい文化の芽生えなどにつながり、文化芸術振興の機運を高めていきます。

○ 文化創造戦略

古くからある特徴的な文化芸術の継承や、現在ある文化芸術の保護に加え、新たな文化創造の仕組みを構築するため、創造活動への支援を行い、産業や福祉など他分野へ活用することについて取組みます。

○ ことば文化発信戦略

俳句や文学で育まれた、松山の特徴的な「ことば文化」を、国内外へ、そして未来へ向けて情報発信し、俳句を軸としたことば事業を松山の文化芸術の先導的取組として、認知度の向上と、さらなる普及を図ります。